

海外論文情報

From **PEDIATRICS**

(Official Journal of the American Academy of Pediatrics)

2021 September VOLUME 148/ISSUE 3

主題より

- 2019年に米国の子どもと若年成人に処方されたオピオイドの調査：幼児向けではコデインやトラマドールが多く処方に向けての注意を要する
- 青年期における医療目的以外で使用するオピオイドの行動に及ぼす影響
- 米国における青少年のオンラインによる希死念慮の傾向と危険因子
- イタリアにおける軽度の SARS-CoV-2感染と中和抗体価（nAb）との関連：家族クラスターにより感染した子どもでは nAb が高い
- 新生児合併症における病院のケアの質と人種および民族による格差
- スウェーデンにおける早産と自閉スペクトラム症（ASD）有病率の関係調査：在胎週数による ASD 有病率は、22～27週の早産で6.1%，満期（39～41週間）で1.4%であり男児が多い傾向
- 虐待報告後の医学的原因による乳児死亡に関する米国カリフォルニア州での調査
- 病院内連携による小児虐待患者安全プログラムの策定
- 医学的に不安定で高度な医療的ケアが必要な子どもに遠隔医療を行うことで包括医療費を削減
- 特別な医療や支援を必要とする子どもと家族の雇用状況の関連
- 米国における青少年の市販 vaping（水蒸気を吸引する電子タバコ）およびその他電子タバコ等の使用実態の調査
- 低・中所得国12カ国における武力紛争と幼児期の発達との関連
- 糖尿病性ケトアシドーシスの小児における血清ナトリウム濃度と精神状態の関係
- 1型糖尿病患者の COVID-19の罹患と糖尿病性ケトアシドーシスのリスク
- 小児科の緊急事態への準備：多施設共同研究
- 小児病院の患者安全組織による医療安全事象に関する改善の試み

■ 細気管支炎の改善基準の評価

■ 幼児における侵襲性単純ヘルペスウイルス感染の予測因子

■ 米国の先天梅毒（CS）の乳児の2014～2018年の調査では、生後1カ月後に発症しており、ガイドラインに従った早期の診断と治療を要する

■ 母乳育児と遅発型B群連鎖球菌感染症（LOGBS）に関する豪州の4病院の調査（2007～2017年）では母乳がGBSに曝露されているもののLOGBSのリスク因子にはならない

■ 地域病院での新生児管理にパルスオキシメータを用いて重症先天性心疾患をスクリーニングすることにより、重症先天性心疾患の死亡症例が減少

■ 母体のインフルエンザと百日咳予防接種は乳児の疾病予防に有効

■ 子どもの術後肺炎のリスクは、神経学的併存疾患のある小児で高く、術前の神経学的状態の肺炎の過剰なリスクを減らすため予防措置が必要

■ 知的障害のある青年のための食事療法による介入

■ 低出生体重児の8歳時点での運動範囲と神経発達

■ 全血算による新生児遺伝性球状赤血球症のスクリーニング

■ 教育現場でのCOVID-19感染の防止

■ 食道閉鎖症と呼吸器疾患

■ 遠隔医療：小児医療へのアクセスと質の向上

■ 小児・思春期および若年成人のがん生存に対する長期フォローアップケアのためのガイドライン

■ 小児の白質ジストロフィー：診断・治療およびケア

■ 米国小児科学会は救急看護師協会の意見書：すべての患者の体重をキログラムで測定することを承認

■ 母親に逆境的小児期体験があると自分の子どもの行動（不注意、多動性、衝動性、攻撃性）に少なからず影響する

COVID-19関連

■ COVID-19パンデミック中に観察された季節性RSVの増加

■ 子どもの迅速なSARS-CoV-2抗原検出キットの性能評価

■ COVID-19パンデミック以降の小児遠隔医療

症例報告

- 発熱と胸痛を主訴として受診した潰瘍性大腸炎の既往歴のある13歳男児例
- ファイザー製 BioNTechCOVID-19ワクチン接種後に症候性急性心筋炎を惹起した7例
- 染色体に組み込まれたヒトヘルペスウイルス6 (iciHHV-6) 陽性の多系統炎症性症候群の小児例
- 自家製粉ミルクで重篤な合併症を惹起した乳児例
- 新生児 HSV-1感染後 TLR-3低値を伴った抗 NMDAR 脳炎の小児例
- 難治性腸疾患を伴う STAT3変異小児高免疫グロブリンE症候群に対するデュピルマブの効果

詳細は下記の web site を参照

<https://pediatrics.aappublications.org/content/148/3>

同様の情報をホームページでも提供しています。

<http://shoni-iji.com/>